

press release

2012年8月3日

(本資料は、ロンドンにて2012年8月1日付で配信したプレスリリースの参考訳です)

スタンダードチャータードPLC 2012年度上半期決算発表 税引き前利益39.5億米ドル(前年同期比9%増)

事業の多様化と強い成長基調がもたらす真の弾力性

業績ハイライト:

- 当行が事業展開する市場全体の成長により、グループの営業収益が9%増加
- 長期的な成長を目指した投資を拡大
- コンシューマーバンキング部門の営業収益は、非常に好調だった前年同期より5%増の35億米ドルを計上
- ホールセールバンキング部門の営業収益は、商業銀行業務の伸びが貢献し、10%増の60億米ドルを計上
- 徹底的なコスト管理の結果、収益成長率がコスト上昇率を2%上回る
- RoE(株主資本利益率)13.8%、中間配当金額10%増と、高い株主貢献度を継続
- 預貸率77.6%、流動資産比率27.9%と、卓越したバランスシートを維持
- コア Tier 1 資本比率は11.6%と、引き続き堅固な自己資本基盤

8月1日付で発表された2012年度上半期におけるスタンダードチャータードPLC(本社:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ)の営業収益と税引き前利益は、共に前年同期比9%増*となり、それぞれ95.1億米ドル、39.5億米ドルを計上し、10期連続で最高益を更新しました。

スタンダードチャータードの成功は、多様な国・地域における多角的な商品・サービスの提供がもたらす営業収益によって引き続き支えられています。当行グループが事業展開するアジア・アフリカ・中東地域の経済成長が堅調に推移する中で、世界の主要な貿易および投資活動全体をカバーするグループの広範なネットワークは、競争上の優位性をもたらす重要な存在として、常に評価されています。

スタンダードチャータードは、競合相手との強力な差別化を常に進めています。グループによるアジア・アフリカ・中東地域全体における長期的な成長機会への投資拡大が、その一例です。

当行グループは預金受入業務を拡張するために、インフラストラクチャー拡充・新規支店開設・テクノロジー増強に関連する投資を拡大しています。具体的には、来年度末までに、中国とインドで100支店の新規開設を予定しています。

モバイル通信やインターネットを利用したサービスに関する投資も増強しています。例えば、当行グループが業界の賞を数多く受賞した個人顧客向けモバイルバンキングのアプリケーション「ブリーズ(Breeze)」は現在、7カ国で普及しています。コンシューマーバンキング部門では現在、33カ国で(ブリーズ・その他を含む)モバイルバンキングサービスを、さらに29カ国でインターネットバンキングサービスを提供しています。当行グループは、一定のペースで新商品・サービスの導入をさらに進めていく計画です。

市場

スタンダードチャータードの成長は、数多くの成長エンジンに支えられています。2012年度上半期では、当行グループのグローバルネットワークのうち20カ国において、2桁の収益成長が達成されました。

中国経済は減速に転じていますが、当行グループの中国における事業の成長基調は良好で、2012年度上半期の営業収益は前年同期比22%増を記録しました。当行グループが中国で抱えるエクスポージャーについては、政府系投資機関向けは皆無、企業不動産関連は最小限にとどまっています。

香港における2012年度上半期の営業収益は、前年同期比で2桁の力強い伸びを記録しました。シンガポールと韓国の増益率はそれぞれ6%と13%でした。インドでは、為替レートと困難な事業環境を反映して上半期の営業収益は12%減となりましたが、為替変動がなかったものと仮定した試算(CC)ベースでは2%増でした。

スタンダードチャータードは引き続き、事業展開する市場における競争上の優位性を保持しています。

貿易および商業銀行業務において強みを誇る当行グループは、欧州(英国を含む)・米州地域を拠点とする顧客にはアジアの成長市場へのアクセスを可能にする一方、アジアの顧客には欧米向け投資を可能にしています。その結果、欧州(英国を含む)・米州地域での当行グループの営業収益と税引き前利益は、前年比でそれぞれ26%と90%の増加となりました。東西の架け橋として活躍するスタンダードチャータードは、国際的な顧客のニーズを満たすために、その戦略・商品能力・専門知識を生かしています。

アフリカで長い歴史を持つスタンダードチャータードは、アジアとアフリカの商品(コモディティ)貿易で中心的な役割を担っています。現在、アフリカでは14カ国に183支店を擁していますが、2年以内に約250支店に増やす予定です。

大中華圏(中国・香港・台湾)を包括的にカバーする当行の貿易および投資活動が、グループ全体に利益をもたらしていることは言うまでもありません。大中華圏内を起点とする中国関連業務の営業収益は、前年同期比56%増でした。

バランスシート

スタンダードチャータードのバランスシートは卓越した状態にあります。当行グループは引き続き、運用・調達が多様化、堅固な自己資本基盤の維持、預金を主とする資金調達という経営の基本を堅持していきます。当行グループのコア Tier 1 資本比率は11.6%と、バーゼル銀行監督委員会が合意した銀行に対する新たな自己資本比率規制「バーゼル III」をすでにクリアしています。さらに、預貸率も77.6%と極めて堅固な水準を維持しています。スタンダードチャータードは、金融危機の発生以来、3大格付け機関から格付けを引き上げられてきた唯一の大手国際金融機関です。当行グループは、その事実がもたらす恩恵をこれからも享受していきます。

非常に厳しい状況にあるマクロ経済から判断して、資産内容(質)については引き続き注意が必要ですが、当行グループの資産内容は良好であり、今後数年間に予定される借り換えニーズは限定的な水準にとどまっています。

クレジットコスト

当行グループの2012年上半期のクレジットコストは前年同期比で42%増となりましたが、前期(2011年下半期)比では18%増と、極めて低い水準にとどまっています。クレジットコストはコンシューマーバンキングとホールセールバンキングの両部門で微増していますが、いずれも極めて低い水準からの増加となっています。当行グループは、融資の内容と質の両面については、引き続き非常に安心できる水準にあると判断しています。

リスク管理に対する当行グループの厳格かつ積極的な姿勢に変更はありません。コンシューマーバンキング部門の融資の82%は全額ないし一部担保されています。ホールセールバンキング部門も、その融資の63%超が平均残存(返済)期間1年未満ということから、全体的に見て安心できる水準にあると考えています。

コンシューマーバンキング部門

コンシューマーバンキング部門の事業再編成プログラムは、引き続き順調な進展を見せています。当行グループでは、同部門の顧客ベースの拡大と顧客サービスの強化・充実を図るために新たな投資を進めています。

コンシューマーバンキング部門の2012年度上半期の営業収益は、前年同期比で5%増の35億米ドルに達しました。事業別では、預金事業の営業収益が前年同期比14%増と高い伸びを記録する一方、クレジットカード・個人向け融資事業も、残高の伸びが貢献し、前年同期比で13%増、前期比で7%増と成長基調を維持しました。融

資・貿易金融・キャッシュマネジメントの伸びが顕著だった中小企業(SME)向け事業は、引き続き好調に実績を伸ばし、営業収益の前年同期比は7%増でした。

ウエルスマネジメント事業の営業収益は3%減、昨年度に発生した特別費用回収8,600万米ドル、クレジットコストの42%上昇を反映して、コンシューマーバンキング部門の2012年度上半期の税引き前利益は、前年同期比で11%の減少となりました。

ホールセールバンキング部門

ホールセールバンキング部門は、弾力性に優れたビジネスモデル、顧客重視の業務の継続、事業展開する市場の経済成長を反映し、再び好業績を収めました。同部門の2012年上半期の営業収益は前年同期比で10%増であり、同部門総収益の80%は顧客業務収益がもたらしたものです。

ホールセールバンキング部門の中核事業であるトランザクションバンキングは、上半期に業績を好調に伸ばし、営業収益は前年同期比で19%の増加となりました。貿易金融事業は25%、キャッシュマネジメント事業は平均残高の増加とマージンの改善を反映し、13%とそれぞれ収益を伸ばしました。コーポレートファイナンス事業の営業収益は、前年同期比9%増の9億9,100万米ドルでした。

ホールセールバンキング部門は、2012年下半期も、その多くの事業において非常に好調な業務展開が期待されることから、卓越した成長基調が持続することが予想されます。

スタンダードチャータードの最高経営責任者であるピーター・サンズは、以下のように述べています。

「今回の決算は、当行グループにとって2012年上半期が非常にポジティブな半年だったことを証明しています。このような好調な業績の持続は、当行グループのビジネスモデルが弾力性に優れていることの証しであり、極めて多様な収益源の存在意義が再確認されました。なお、スタンダードチャータードの上半期決算は10期連続で最高益を更新いたしました。」

詳細につきましては、下記の担当者へご連絡ください。

Jon Tracey, Head of Media Relations
Standard Chartered Bank
Tel: +44 20 7885 7613 / +44 7730 051846
jonathan.tracey@sc.com

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

財務実績ハイライト

(単位:百万米ドル)

グループ	2012 年度上半期	2011 年度上半期	増減(%)
営業収益	9,511	8,764	9
費用	4,963	4,677	(6)
クレジットコスト	583	412	(42)
税引き前利益	3,948	3,636	9
ホールセールバンキング部門			
営業収益	5,996	5,427	10
税引き前利益	2,992	2,590	16
コンシューマーバンキング部門			
営業収益	3,515	3,337	5
税引き前利益	899	1,013	(11)

税引き前利益(国・地域別)

(単位:百万米ドル)

国・地域	2012 年度上半期	2011 年度上半期	増減(%)
香港	870	790	10
シンガポール	546	465	17
韓国	303	193	57
その他アジア太平洋地域諸国	765	846	(10)
インド	311	378	(18)
中東・南アジア	378	429	(12)
アフリカ	311	291	7
米州・欧州(英国を含む)	464	244	90
合計	3,948	3,636	9

(注)

* 特に別記のない限り、本リリース中の数字はすべて 2012 年度上半期と 2011 年度上半期の比較です。

スタンダードチャータード銀行ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所ならびにインド国立証券取引所に上場している国際的な金融グループです。世界で最もダイナミックな市場ーアジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。また、世界70か国以上で1,700余のオフィスを有する当行は、国際的なキャリア構築の機会を総勢87,000余名の行員に対して生み出しています。当行グループでは、長期的視野に立った持続性のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでのコーポレートガバナンスを保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を得ています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で132年目を迎えます。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約260名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けに多岐にわたる金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) www.standardchartered.com

スタンダードチャータードグループ facebook(英語) www.facebook.com/standardchartered

スタンダードチャータードグループ Twitter アカウント @StanChart

スタンダードチャータード銀行在日支店HP(日本語) www.standardchartered.co.jp

スタンダードチャータード銀行在日支店HP(英語) www.standardchartered.co.jp/index_english.html